

板橋区における障がい者差別の相談等受付状況

1 令和3年度の相談受付の内訳

令和3年7月末日現在、障がい者差別の相談受付は0（ゼロ）件。

2 令和2年度の相談受付の内訳（参考）

対象機関	差別に関する相談	合理的配慮に関する相談	その他
行政機関（板橋区以外を含む）	0	1	0
民間事業者	1	1	1
病院関係	0	0	0
雇用関係	0	1	1
その他	0	0	0
合 計	1	3	2

※対応事例は裏面参照。

3 令和元年度の相談受付の内訳（参考）

対象機関	差別に関する相談	合理的配慮に関する相談	その他
行政機関（板橋区以外を含む）	0	0	0
民間事業者	0	6	1
病院関係	1	0	1
雇用関係	0	0	1
その他	0	0	0
合 計	1	6	3

4 障がい別内訳

障がい	身体		知的		精神(発達含)		不明・その他	
年度	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
人数	4	3	2	0	2	1	2	2

5 令和2年度の対応事例

NO	相談種別	概要	対応
1	合理的配慮	民間事業者の提供するスマートフォン用アプリケーションにてアプリのリニューアルがあったが、新アプリでは本人確認の方法が自動音声の聞き取りによるコード入力しか無く、聴覚障がいのある相談者は新アプリを利用できない。	提供元事業者へ確認したところ、現状は自動音声の聞き取り以外に本人確認方法が無く、聴覚に障がいのある方は家族等周囲の人に代わりに聞き取ってもらうなどの対応をするしかないとのこと。 事業者へ合理的配慮の義務について説明し、今後のアプリ開発に役立てるとのことであった。 また、代替手段として同等の web サービス等の案内があったため、相談者へ伝えた。
2	その他	民間事業者より、顧客への身体介助について、どこまで配慮として行うべきかとの相談	法律及び条例による、過重な負担とならない範囲での合理的配慮の義務について説明し、当事者との建設的対話により適切な支援方法を探っていくようアドバイスを行った。
3	合理的配慮	美術館や博物館などにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響によりインターネットでの事前予約が必須となっているが、インターネットの利用が難しい人への配慮が不足していると感じる。	相談のあった施設に確認したところ、インターネットの利用が難しいという方より電話等で相談をもらった場合は、個別に対応を行っているとのことであった。
4	その他	雇用元の社員の発言が配慮不足であると感じた。また、勤務時間等についての対応も障がい者への配慮に欠けていると感じる。	雇用に関する問題であるため、東京労働局の窓口を紹介し、具体的な対応については東京労働局等が行うことになる旨を説明した。
5	合理的配慮	障がいによる差別的な賃金昇給の疑いと、社内会議において筆談を行わないなどの合理的配慮の不足がある。	賃金については雇用に関する問題であるため、東京労働局の窓口を紹介した。 合理的配慮の不足については、現状困っていることを社内会議で発言・周知すること、上司と話し合いをすることを助言し、改善の見込みのない場合は、区へ改めて相談するよう説明した。 その後、区への相談はなし。